

三田4・5丁目・高輪  
白金・白金台

発行：高輪地区総合支所  
協働推進課



# みなとふ

Takanawa  
Community News Magazine



## CONTENTS

② 3・11 その時、わたしは

③ この街にこの人あり

ジャズ・トランペッター

日野 皓正さん



④⑤ 備えて安心 高輪マップ

⑥ 震災・防災について

高輪消防署

高輪警察署

三田中学校防災訓練

⑦ 区からのお知らせ

⑧ 高輪地区防災フォーラム

港区高輪地区総合防災訓練

表紙絵

「旧細川邸(高輪二丁目)シイの木」

松島 純さん(高輪在住)

数百年の成長と、動かない力強さを一枚の絵に追求しています。

## 復興と再生に向けて

日本の「木の文化」は「再生の文化」とも言われています。

木の建物は朽ち果てやすく、火事になると燃え、地震や台風などの災害にも決して強くはありません。しかし、縄文時代から1万年以上も「木の文化」は続いています。それは、以前の記憶をきちんと伝える技術と、復興・再生する力を身につけていたからです。日本は災害の多い国ですが、くじけなかったのは、災害をきちんと受けとめ、災害から学び、その知恵を生かしてきたからでしょう。

今回、東日本大震災では、未曾有の被害を受けました。高輪地区でも震災についての様々な課題が指摘されています。この号では改めて東日本大震災のことを振り返り、反省、学ぶべき点を把握し、これからの災害に備えようという観点からまとめました。

港区では、港区防災対策基本条例を制定しました。地域の各団体も防災マニュアルの改訂を検討しています。より安全なまちづくりの実現に向けて力を合わせて進めています。

東日本大震災が今までの災害と違ったのは、原子力発電所の事故が加わったからです。原子力発電所の事故は、復興までの道のりを長引かせると同時に、電力の供給不足、放射能汚染として、日本全域に影響を与えています。今、日本の復興・再生は、日本人が心を一つにして取り組むことが必要ではないでしょうか。

高輪地区の樹齢300年以上のシイの木は、50年前、雷が落ちて焼け焦げ、瀕死の状態に陥りました。幸いにも翌年芽をふき、力強く再生し今も元気にパワーを発信しています。これからの日本、力強い復興と再生を願ってやみません。

(担当 / 安藤)

## 3・11 その時、わたしは——

大震災の時、あなたは、どこで、何をしていましたか？  
日々の生活の中で、さまざまなシーンが展開されたことでしょう。  
その時、どのように感じて、いかに行動したか、  
いくつかの例をご紹介します。

### 高層マンションのエレベーターが停まって

吉田さん（白金在住）

3月11日午後、私は「芝の家」の会合に出ていた。突然、大きな揺れを感じた。その後、運よく通りかかったタクシーで自宅へ戻る途中、ビルから人があふれ出る光景に非常事態を感じた。地震の影響で自宅マンションのエレベーターが停止、当時、私は1月に膝を骨折したため、サポーターをし、杖が頼りの状況だった。

11階の自宅までどうたどり着くか。余震が続く不安な中、顔見知りのマンション清掃担当のAさんに声をかけられ、11階まで付き添ってくれることになった。60歳ほどのAさんはヘルパーの資格をもっているとかで、男性ながらやさしい気配りで上手にサポートしてもらい無事帰宅することができた。Aさんの好意に感謝の気持ちでいっぱい。今回のことで日頃のコミュニケーションの大切さ、高層建物内の非常用電源確保など防災対策の必要性を実感した。

### 帰宅する方々の道案内に追われて

電器店の丸山さん、斉藤さん（高輪在住）

私のお店は、桜田通りと泉岳寺方面に行く都道との交差点にあります。東日本大震災の際、どちらの道路の歩道も自宅に帰ろうとする人でぎっしり埋まっていました。店は夜の7時頃閉めましたが、夜中の午前3時位まで歩く人が絶えなかったようです。歩いている100人以上の方から、目黒、五反田、品川はどちらの方角か道を尋ねられました。尋ねる方は、女性が多く、どなたも必死の顔をされていました。歩く人に見やすいわかりやすい標識があるとよいと思います。

また、お店の中に2時間も座り込んでテレビを見ている方がいて、ちょっと怖かったです。商店会のお店が連携して防犯対策を考える必要があると思いました。また、お店の前には、テレビから情報をえようとする人で黒山の人だかりになっていました。高輪地区総合支所などでテレビがあるとよいと思いました。

### 高輪台交差点の書店

石黒さん（高輪在住）

ラジオを聴いていました。緊急地震速報が入り、宮城県で地震発生！だと。遠くの話だと思っていたら、店の中央の書棚が揺れはじめ、上から本がバラバラと落ちてきました。首の骨でも折っては大変と、店の外へ飛び出しました。すると交差点周辺の広場に沢山の人が！ガードレールに掴まる人、その場にしゃがみ込んでいる人もいました。突然のことに対し、なす術も無く、驚愕の余り足がすくみ、揺れ動く我が家に眼を凝らすのみでした。東京でこんな事は初めてでした。家と道路との間に段差が出来てしまいましたが、未だにそのままになっています。

### 山手線の中で

太田さん（三田在住）

山手線で恵比寿から渋谷にさしかかった時、突然激しい揺れに襲われました。車両は揺れに揺れ、今にも脱線するかと思うほど。車内はたちまち騒然となりました。電車は止まったまま、何事が起こったのか30分ほどはアナウンスもなく、地震、津波の情報は、隣に座っていた若者のワンセグで知りました。そのまま車内に閉じ込められて約2時間。携帯もつながらず、具合が悪くなってしゃがみこむ人も何人かいました。やがて数力所にはしごがかけられ線路に降りることに。乗務員の誘導で、線路を歩き埼京線のホームに上がり、そこからようやく道路に出ることができました。

歩いて渋谷に到着したものの、駅は人の波、波。トイレに行こうと思っても長蛇の列で、思い切って駅員さんに駅員専用トイレを使わせてくれるように頼みました。長時間何の情報も得られないまま車内に閉じ込められた、たえようもない不安、そしてトイレが利用できなかった苦しさは忘れられません。

### 高層住宅にお住まいの一人暮らし 高齢者（87歳）の体験

Mさん（高輪在住）

テレビを見ていたら揺れだし、すぐに玄関扉を開け、全力でしがみつきました。不気味な異常音と強い揺れで、生きた心地がしませんでした。揺れが収まった部屋の中は、ひどい状態でしたが「突っぱり棒」と「ガラス飛散防止フィルム」を貼った家具（10cm余動いた跡はあり）は大丈夫でした。エレベーターは停止し、余震が続き、心配して階下の方が来てくれました。家具は倒れ、割れたガラスが散乱する中でテレビのスイッチを切り、夫の位牌を必死で拾いました。

私自身は14階に居住のため、常時お風呂の水は満杯にし、1週間分位の飲料水と非常食を備蓄していました。おかげで、エレベーターが止まっても、買い物に行かずにすみました。また、寝室には、タンスなどの収納は一切おかず、枕元に懐中電灯、常備薬その他を用意しておりました。

後日、遠方にいる息子と孫が後片付けに来てくれ、ガラスなどのごみ捨ては近所の方に協力していただきました。生まれて初めてこのような怖い経験をしましたが、近所の方々のご助力とご厚意に感謝致しております。

### エチオピア大使館で

エチオピア大使館2等書記官 フェレケ・バライさん

3・11のとき、オフィスにいましたが、突然ひどい揺れがきて怖かったです。外に出ると、近くの45階建てのマンションが大きく揺れているのが見えました。今回のような地震の際、外務省から一定の情報はきますが、港区からは英語での情報がほとんどこないのも、もっといただければ幸いです。

ただこんなに大きな地震でも、ビルも古い一軒家などもほとんど倒れず、日本の建築技術はすごいなと思いました。

エチオピア大使館では、4月末に、日本エチオピア協会及びモカ・エチオピア・ダンスグループの協力のもと、ダンスのチャリティ・ワークショップを開催しました。参加費のかわりに、「Go Japan」と入っているチャリティ・バングル（エチオピアの革職人によって作られたもの）が配られました。参加者全員そのバングルを腕につけ、東北の復興を願って、気持ちを一つにして踊りました。その収益をまとめて、東北の被災地に寄付しました。

# この街にこの人あり

ジャズ・トランペッター

日野

皓正さん

## 『ジャズは、自分の個性を表現することが大事だよ』

この地区にはどの位お住まいですか

一年のうち、日本にいる生活とアメリカにいる生活は半々ですが、日本では白金台に20年近く住んでいる。静かで、緑が多く気に入っていますよ。

私が住んでいる部屋から自然教育園の樹がよく見えます。その中の3本の樹の幹が龍のような形に見えるのが面白く、四季折々、朝、昼、晩、いろいろな情景の写真を3年間撮り続けています。自然教育園にはよく行きますよ。また、家の近くでお気に入りの店がいくつかあり、よく食事をするので、知り合いも大勢います。

ジャズを始めたのはいつの時ですか。また、始めたきっかけは

やはり、父（日野敏氏）の影響と父からの教育です。

父は、日本で3本の指に入るタップダンサーで、トランペットも吹いていました。私は4才位からタップダンスを教えられ、トランペットは9才位から教えられました。弟（日野元彦氏）は早くから父と一緒にタップダンスで米軍キャンプの舞台に出ていました。

お父さんのトランペット教育は厳しかったですか

学校に行く前に30分、学校から帰ってから2時間みっちり練習をさせられた。スパルタ教育で、むちで叩かれたことも何度かありました。父は、トランペッターとしては自分の限界を感じていて、息子に夢を託したので厳しかったのだと思う。

トランペットでデビューしたのはいつ頃ですか

中学3年生位だったと思います。昼は学生服で登校し、夜になるとポマードで髪を固めて父の背広を着て米軍キャンプなどの舞台に出ていました。

弟はドラムスで父のバンドでその前からすでに出演していました。トラン

ペットはある程度、練習をつまないと舞台に出られないのですよ。その後、だんだん、父の代わりにトランペットを吹くようになりまして。父より出演料が桁違いに安かったので、バンドは喜んで使ってくれましたね。17才頃、商店街の催し物で当人気のコロンビア・トップ・ライトさん達と一緒に出演し、ラッパを吹いたこともありまして。

ともあるのです。演奏会はいつも同じではないのです。その日のひらめき、体調、演奏している相手によって変わります。ジャズは一緒に演奏するメンバーと音の会話をするようなものなのです。同じような技量と個性が大事ですね。弟としばらく一緒に演奏していませんでした。ある時私と久しぶりに演奏する機会があり、すごくよい演奏ができ、悩みは吹き飛んだと言っていました。やはり、メンバーの技量と相性に左右されますね。



演奏している時は、どのようなことを考えますか

「無」です。なにも考えないようにしている。それがオリジナリティにつながるのです。予め考えると誰かのフレーズになってしまうような気がしますね。

クラシック音楽は、譜面通りに忠実に演奏することが求められますが、ジャズは、その人なりの演奏の仕方、音の出しかた、アドリブなど個性の表現に最も価値があるのですよ。

よい演奏をする時は、天からいろいろな指示の言葉が聞こえてくるような気がします。音を外してもそれが、かえって味のある演奏になったりするこ

東日本大震災の被災地支援を行っていただけますか

王貞治さん、青木功さんと3人でチャリティゴルフ大会をして、被災地に寄付をしました。

また、先祖の墓が石巻市にあるので、墓の様子を見ることが兼ねて被災地に行き、支援コンサートを石巻市、南三陸町など何カ所かで開いています。

倒れたお墓も多かったのに、先祖のお墓は、倒れずにずれただけでした。元の位置に戻そうとしたところびくとせず、バンドの仲間と力を合わせて、元通りにしました。

私の先祖が雅楽などを演奏していたのだと時々思うことがあるのですよ。先祖の遺伝子が私に伝わっているかも知れませんね。スキー大会の開会式の時、寛仁親王ご夫妻の前で国歌をソロで演奏しました。

後程、宿舎に訪ねるようお言葉が有り、訪ねた時「君のトランペットは自衛隊の演奏とは違うね」と言われた。私が国歌を演奏すると雅楽風な調子になってしまふのは遺伝子のせいですかね。(笑)

息子さんもベースを弾いていますね。ミュージシャンの道に進むように教えたのですか

いえ、やはり音楽に関心がある遺伝

子ですかね。息子（日野賢二氏）は何となく父の背中を見て、自分で決めたようです。

人間はそれぞれが得意とする才能を持っていきます。それをだれかがうまく引き出せるとよいですね。私の場合は父が私の才能を見つけてくれたのだと思う。

今の教育は、どの分野も一定の合格点が与えられるような人間を社会に送り出すような方針になっている。ある分野だけ飛び抜けた才能のある人間を見つけてやるような教育の仕方があるとよいね。

ご趣味は

スキーやゴルフをよくやりますが、最近は絵を描くことにはまっています。画集を出版したり、個展を開いたり。自分を表現する別の手段として、絵を描いています。

お酒やたばこは好きですか

たばこは、一切吸いません。お酒はきっぱりやめてから24年になります。お陰で、特に健康法は行っていませんが、体調はともよいです。トランペットを吹くには、体力が必要です。年をとっても体力が衰えないように考えています。

音楽を目指す若い人に一言お願いします

どの分野の若い人にも言えることですが、技術は素晴らしい、リズムもある、音楽の理論もある、欠点はほとんどないのです。しかし、演奏してみると、単調で「私はだれ？」になってしまふ。自分の個性をうまく表現できていないのです。ほんとうの心がこもっていないのです。何か障害のある人が音楽や美術に取り組みと素晴らしい結果を生むことがある。それは、個性を発揮できることや心をこめて取り組んでいるからだだと思います。

◆インタビュを終えて  
日野さんはほんとうに若々しく、エネルギーに楽しそうに話をされました。聞いていただけで、こちらも楽しくなってくるのはさすが、エンターテインナーだと感じました。表情、身振り、時々歌ったりして、紙面でその楽しさをうまく表現できないのは残念です。一方、演奏会には、自分の力のすべてを出すために、日頃から練習、生活、心構えなど厳しい努力をしている一面もかいまみることができました。

日野 皓正 (ひの てるまさ)

1942年10月25日東京生まれ。9歳よりトランペットをはじめ、1967年に初リーダーアルバムをリリース。以降、マスコミに「ヒノテル・ブーム」と騒がれるほどの注目を集め、国内外のツアーやフェスティバルへの出演をはじめ、雑誌の表紙を飾るなどファッションなミュージシャンとして多方面で活躍。1975年、NYへ渡り居をかまえ、数多くのミュージシャンと活動を共にする。その後もヒットアルバムを連発、CM出演など多数。1989年にはジャズの名門レーベル“blue note”と日本人初の契約アーティストとなる。日本をはじめとするアジア各国での公演の他、チャリティー活動や後進の指導にも情熱を注いでいる。

- 最新アルバムは2011年5月25日発売の『アフターショック』
- 01年芸術選奨「文部科学大臣賞」受賞
- 04年紫綬褒章、文化庁芸術祭「レコード部門優秀賞」、毎日映画コンクール「音楽賞」受賞

ライブ情報

クリスマス・ライブ 12月22～24日 STB139スイートベイジル (港区六本木)

■問い合わせ先: 03-5474-0139

(担当/安藤・高橋・河村・明石)

ることになります。

おきましょう。



	広域避難場所	震災時、火災の延焼の危険から避難する場所。
	避難所	災害による家屋の倒壊等で被害を受けた人の一時的な生活場所で、水・食糧・情報などを供給する。
	二次避難所	避難所での生活が困難で、介護などを必要とする高齢者や障害者の一時的な生活場所。
	応急給水槽	地震などの災害が発生し、水道水が使用できなくなったときは、ここで水を配給する。

### マンホールトイレ・組立式簡易トイレ

施設名	種別
御田小学校	マンホール／組立式簡易
三田中学校	マンホール／組立式簡易
白金小学校	組立式簡易
三光小学校	組立式簡易
神心小学校	組立式簡易
朝日中学校	組立式簡易
高松中学校	マンホール／組立式簡易
高輪台小学校	マンホール／組立式簡易
高輪区民センター	組立式簡易

※上記のほか、公園・施設(一部)でもマンホールトイレおよび組立式簡易トイレを備蓄しています。

### マンホールトイレとは?

普段はマンホールの状態ですが、震災の規模によって水洗トイレが使用できなくなった場合にマンホールの蓋を開けて組み立て式の仮設トイレを設置するものです。マンホールトイレは汲み取りの必要がない下水道直結型トイレです。



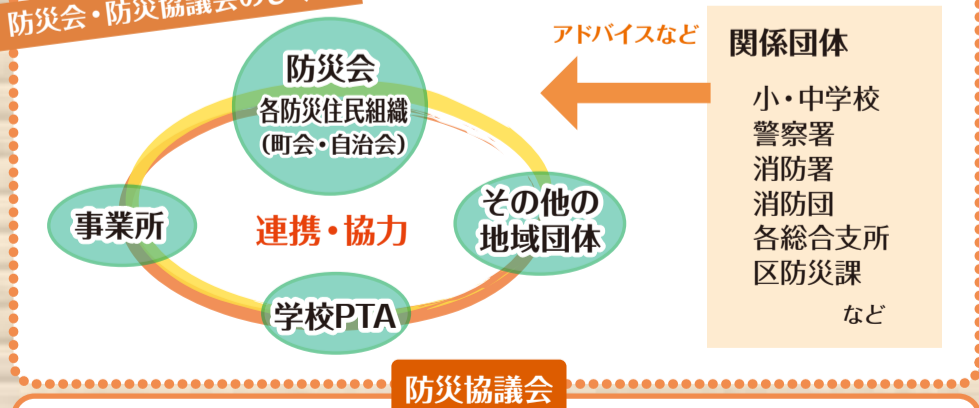
### 大震災発生時の交通規制を知っていますか?

大震災発生時(震度6弱以上の地震が発生し、かつ、大規模な災害が発生した際)に緊急通行車両の通路確保のために交通規制が行われ、多摩川、国道246、及び環状7号線を結んだ内側の区域は、**緊急通行車両以外の車両は全面車両通行禁止となります。**通行禁止区域内の車両は速やかに近くの駐車場、公園、空き地等の道路外へ移動し、家族との連絡、避難等に車両は使用しないでください。

### 地域防災協議会

区内各所で同時多発的に災害が発生するような大地震の場合、防災関係機関(区、警察、消防など)だけの対応では限界があります。港区では近隣の防災会(町会、自治会)、事業所、PTAなどが、協力して避難所運営や避難誘導などを行うための組織として、地域防災協議会が設立されています。災害時の避難所運営は地域防災協議会を中心とした地域住民(避難者と在宅被害者)が主体となって行います。高輪地区では、4組織設立されています。

### 防災会・防災協議会のしくみ



- 御田小地区防災協議会
- 白金小地域防災会
- 白金地区防災協議会
- 高輪地区防災ネットワーク

※『高輪子ども中高生プラザ』は平成23年12月1日開設予定



災害の時、ちょっとした準備、知識、心構えがあなたの身の安全を守り、そんな情報を集めて一枚の地図にしてみました。いつ起こるかわからない災害に備えて、今から少しずつでも準備して



いくつ備えていますか?.....

Let's チェック!

☑ 家の中で

- ・ お風呂の水はためておく。
- ・ 家具類を動かさないように固定しておく。寝室や、子ども・高齢者のいる部屋には可能な限り家具を置かない。
- ・ 安全に避難できるように、出入口や通路には物を置かない。
- ・ ベッド等の近くに懐中電灯・スリッパ(足袋でもよい)を置いておく。

☑ 外で

- ・ いろいろな場所で、地震に見舞われたときどうするかを、頭の中で想定しておく。たとえば、電車の中や地下にいるときなど。
- ・ 公衆電話の場所を確認しておく。
- ・ 階段、避難口を確認しておく。

☑ 備蓄品

- ・ 最低3日分の飲料水・非常食(高層住宅では7日分を推奨)
- ・ 飲料水は1人1日3リットルを目安に。
- ・ 非常食は持ち出しやすく、火も水も使わずに済むもの。
- ・ 非常食や救援物資は炭水化物が多くなりがちなので、野菜の入ったもの、フルーツの缶詰や食物繊維の多いものも準備しておくとい。
- ・ カセットコンロ・ガスボンベ
- ・ 簡易トイレ

☑ 非常持ち出し品

- ・ 玄関など持ち出しやすいところに!
- ・ 総重量は男性15キロ・女性10キロ程度におさえる。
- ・ 懐中電灯・携帯ラジオ・予備電池・ろうそく
- ・ 食料品(そのまま食べられるもの)
- ・ 飲料水
- ・ 医療品(傷薬・包帯などの救急医療薬品)
- ・ 常備薬
- ・ 衣類・タオル類など
- ・ ライター・多機能ナイフ・缶きり
- ・ 生活用品(軍手・ティシュペーパー・トイレトペーパー・ビニール袋など)
- ・ 現金(小銭も)
- ・ 貴重品(通帳・印鑑・保険証・年金手帳のコピーなど)

☑ その他

- ・ 毛布・防災頭巾・ヘルメットなど
- ・ 生理用品・乳幼児関係のものなど
- ・ 日頃から家族で避難場所や避難経路を確認したり、連絡方法などについて話し合っておく。

避難所とは?

災害発生=即、避難所に移動ではありません。避難所は自宅が倒壊もしくは倒壊の危険性がある等、自宅で生活することが困難な場合に一時的に生活をする場です。また、水・食糧・情報等を提供する防災拠点でもあります。

実際に地震に遭遇したとき!

- まずは身の安全の確保が最優先。その次に、火を消す。
- 外出先では、看板などの落下物からカバンなどで頭を保護して、自動販売機などからはなれ、落下物や転倒物が少ない開けた空間に移動する。
- トイレのタンクの水は、生活用水として使えるので流さない。
- 家から避難するときは、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を締めること。
- 171伝言ダイヤルの確認  
隣近所が協力しあって、集団で避難する。
- 避難は徒歩で。車やオートバイは使用しない。



## 高輪消防署

自然の力の大きさを実感・・・  
被災地支援に行ってすげの  
高輪消防署 菅野 富士男さん

私は震災直後の3月11日から15日まで、第2次派遣隊として東日本大震災で被害にあった気仙沼市に支援に行ってきました。今回の地震にともない、東京消防庁から緊急消防援助隊として宮城県をはじめ6県に対して派遣した職員は、総勢514隊、3,243名でした。気仙沼市に対する第2次派遣隊は、31隊、129名でした。私の任務は二本榎出張所にある特殊車両を使った後方支援で、現場で活動する隊員に食糧や水を供給する役割です。この特殊車両は消防隊員のため400リットルの水や非常食を積んでおり、LPGを利用した給湯設備による給茶、軽食及び冷水を提供することができます。東京から現地につくまで約12時間かかりました。東北自動車道は、所々路面舗装が破壊され、亀裂または凹凸があったりして、徐行しながら行くので随分時間がかかりました。被災地の状況は想像を絶する光景でした。気仙沼市は津波のため、大きな被害を受けた上に、市街地に大規模な火災が発生し、消防隊員が消火活動及び逃げ遅れた人の探索等に大活躍しました。自然の力の大きさを実感しました。滞在した5日間は、ゆっくり寝る間もなく活動していました。現地には、ある程度、水や食糧があると思っていたのですが、ほとんどなく、現場の隊員には、積んでいたカップめんなどの非常食を主に提供しました。水は50kmも離れた場所に行き給水しました。給食の際に活動隊員を優先させるため、後方支援隊員のカップめんに給湯する水がないときはめんをそのままじったこともありました。とにかく、震災直後は食糧が少なく、苦労しました。



気仙沼市大規模火災の消火活動を行う隊員たち

## 東日本大震災、その時・・・

## ●都内の被害状況

東日本大震災で、都内では最大震度5強の大きな揺れを観測し、東京消防庁管内では余震も含め34件の火災が発生しました。地震により白熱灯スタンドが転倒して、布団に接触し出火したことや、室内の本棚が倒れて、落ちた雑誌などが電気ストーブの上に落下し、着火したことなどが原因です。また、195名の方が救急車などにより搬送されました。地震時、避難の際に階段で転倒したり、あわてて避難しようとして足をすべらせ転倒してけがをした方が多数発生しました。津波による被害はありませんでしたが、中央区晴海では1.5mの津波を観測しています。

## ●地震における災害の教訓を踏まえて

「もしも」の時のために、今私たちができることは、少しでも被害を軽減することのできるよう、一人ひとりが地震に備えることです。例えば、家の中にある家具類の転倒・落下防止をしておくことや、避難の時に必要な非常用品を備えておくことなどです。また、お住まいの近くの避難場所を確認しておくことも大切です。自分自身と大切な家族、そして地域を守るために、しっかりと地震に備えましょう。

問い合わせ：高輪消防署  
防火管理係  
☎ 3446-0119



## 高輪警察署

品川駅  
駅前滞留者・帰宅困難者対策訓練

9月1日(木)品川駅周辺で、M7.3の地震発生を想定した訓練を実施しました。約700人の参加者がグループに分かれ、駅構内滞留者誘導や受入施設対応訓練等を行いました。今回の訓練は、東日本大震災を踏まえ、今後の帰宅困難者対策等に反映させていくことを目的に実施し、解決すべき課題を関係機関相互で確認及び検証しました。

大震災発生時に交通機関が運行停止している場合は、  
会社等で待機をし、正常運行が開始してから  
帰宅するようにしましょう。

主催：警視庁  
共催：港区・品川駅周辺滞留者対策推進協議会  
(高輪警察署、駅周辺事業者、商店会、鉄道事業者、  
ライフライン事業者等)



## 大震災発生時の交通規制を知っていますか？

大震災発生直後から、緊急通行車両の通行路確保  
のために交通規制が行われます。

- 車両通行禁止となる区域が設定されます。
- 緊急交通路では、一般車両の通行が禁止されます。
- 国道16号を境とする交通規制が実施されます。



緊急交通路には、標識等が  
設置されています。

被災地域や被災状況等により、緊急交通路の追加、交通規制の変更または解除がありますので、情報をよく聞いて、現場の指示に従ってください。

詳しくは警視庁ホームページをご覧ください。  
(<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp>)

## 三田中学校防災訓練

自分たちにもできることがある！

9月1日(木)三田中学校で防災訓練が実施されました。資器材訓練等を行い、防災意識の高揚、習熟を図ることを目的とし、3年生約100名が参加しました。今回は、ろ水器の使い方の確認、応急担架訓練、間仕切りパネル設置訓練等を行いました。仮設トイレの組立てでは、生徒が自分たちで設置から解体まですべてを行いました。アルファ化米の炊き出し訓練では、発電機やバーナーの使い方の説明を受けた後、実際に生徒たちが使おうとするとなかなか作動せず、苦労していました。防災訓練を体験した生徒からは、「今日のはうまくできたが、実際に災害が起きたときは慌ててしまうと思う」「難しかったが、実際に必要になった時にはできると思う」などの感想が出ていました。三田中学校の今橋副校長は、「中学生は設営などができる側なので、災害時には訓練で学んだことを活かし、積極的に支援に取り組んでほしい。」と話していました。実際に災害が起きたときの力として、中学生の活躍を期待したいと思います。



# おしらせ

## 白金高輪グリーンミュージックフェスティバル開催 輪音～音楽で結ぶ地域の絆～

地域の様々な世代の人たちが集まりふれあい、一緒に音楽を楽しむことで地域の絆を深めるイベント「白金高輪グリーンミュージックフェスティバル」を開催します。

- 日時：11月26日(土) 13:30～16:30 (13:00開場)
- 場所：明治学院大学アートホール (白金台1-2-37)
- 定員：200人 (来場者多数の場合、入場整理券をお持ちの人優先。空席がある場合、当日直接入場可)
- 費用：無料
- 申し込み：入場整理券を送付しますので、電話でみなとコールへ  
☎ 5472-3710  
※10月21日(金) 10:00～11月11日(金)
- 問い合わせ：高輪地区総合支所協働推進課  
地区政策担当 ☎ 5421-7123

昨年度の様子



### プログラム

1. 高輪から音楽を発信！  
アマチュア出演者がジャンルを超えて、さまざまな曲を披露します。
2. みんなで歌おう♪  
地域の子どもたちが演奏に合わせて元気・勇気の出る曲を歌います。  
●曲目「マル・マル・モリ・モリ!」・「勇気100%」
3. 音楽で元気を出そう！  
明治学院大学愛好会吹奏楽部が楽しく華やかな演奏を届けます。  
●曲目「karn evil 9」・「ZIP-A-DEE-DOO-DAH」・「上を向いて歩こう」
4. Viva高輪♪  
地域の皆さんの想いを込めた高輪のイメージソング♪ 会場で一緒に歌いましょう♪

※詳しくは高輪地区総合支所や高輪区民センター等で配布するチラシをご覧ください。また、区のホームページからもダウンロードできます。

## コミュニティ・サロン ～寺町コミュニティ事業～

だれもが気軽に立ち寄り、お茶などを飲みながら交流を深める「コミュニティ・サロン」。防災を楽しく学べるイベントや防災パネル展示などもあります！

- 日時：10月27日(木)～11月2日(水) 14:00～16:00  
※10月30日(日)は除く
- 場所：高輪コミュニティぶらざ2階広場 (雨天中止)

非常食を  
食べてみよう!



10/27(木)、31(月) 15:00～16:00

### ■Dr.ナダレンジャーの防災科学実験ショー

「Dr. ナダレンジャー」による科学実験を交えた防災解説



10/29(土) 14:00～16:00

### ■楽しくしっかり学ぶ防災カードゲーム&防災工作

災害時に役立つ知恵を身につけるカードゲームや被災時に役立つ「紙食器」や「新聞紙スリッパ」作りなど



- 問い合わせ：高輪地区総合支所協働推進課  
地区政策担当 ☎ 5421-7123

## 輪い輪いまつり & あっぷリング高輪フェスティバル

昨年より「輪い輪いまつり」と「あっぷリング高輪フェスティバル」を合同開催しています！区民センター・高輪地区の施設をご利用の皆さんの作品展示や舞台発表の他にも、物産展など楽しさがいっぱいです！

- 日時：11月12日(土) 10:00～18:30  
11月13日(日) 10:00～17:00
- 場所：高輪コミュニティぶらざ1階～5階
- 問い合わせ：高輪地区総合支所管理課施設運営担当  
☎ 5421-7067



## 「高輪地区いきいきフェスタ2011」へのご案内

今年は、咀嚼力判定ガムを噛むことで、あなたの噛む力を判定し、また口腔機能向上ケアに関する講演を行います。また「おたっしや21」を受けていっまでも豊かな生活を送っていただけるように専門職員がご案内致します。その他に「みんなで歌おう」ではみなさんと懐かしい歌を歌ったりと色々なプログラムやお土産等をご用意しておりますので、ぜひお出で下さい。地域で介護予防活動を行う高齢者の皆さん・チャレンジコミュニティ大学の卒業生の皆さん・高齢者相談センター職員・高輪地区4館のいきいきプラザ職員がお待ちしております。

- 日時：11月27日(日) 11:00～16:00
- 場所：高輪いきいきプラザ  
☎ 3449-1643
- 対象：介護予防に興味・関心がある方、どなたでも。



### 編集だより

- 「防災の日」JR品川駅・南口の、大規模な防災訓練に参加したことは、首都直下型地震に備えての貴重な経験でした。(明石)
- 日野さんにお会いして、元気をもらいました。自分の個性を大事にしている生き方が、大変参考になりました。でも日野さんのように無の境地になるにはまだ、ほど遠いです。(安藤)
- 防災について学んできて、自分の生活、自分の街は自分で守らなくてはならないと思いました。そのためにも日頃から、近所の協力体制が大事な事が、よくわかりました。(伊関)
- 活躍の日野皓正さん、数年前の日比谷公園での年末派遣村にて大親友の青木功さんが真っ先に困窮者支援のために来られていたこと、今も鮮明に覚えているとお伝えください。(河村)
- 防災特集の今回、改めて3・11の事をふまえ、自分の身の回りに関わる、人、物等の有り方を考える良い機会になりました。(高橋)
- 3・11のさい、食器棚の止め方が悪く、食器類がかなり割れた。自分の準備不足を反省。近所の友人が手伝ってくれ、感謝。細かいところも工夫して、日頃の備えが大事と痛感した。(滝川)
- 3・11を境に改めて、地域の人々との連携を持つ大切さを実感しました。皆が何を求めているのか、この情報紙からは何が発信できるかを考えたいと思いました。(三村)
- 災害には「自助」の準備も必要ですが、高齢者には隣組のような地域の「共助」が不可欠なので、これから呼びかけていこうと思っています。(安)
- 「Let's チェッカー」を見れば見るほど、自分の準備不足が実感され情けなくなります。まず、できることから手をつけようという決意を新たにしました。(谷知)
- 3・11の時、突然の災害に直面した時の様子をお聞きし、身を守り、家を守るための備え、助け合うことの大切さを痛感しました。(吉田)

- 安藤 洋一(チーフ)
- 谷知 貞江(サブチーフ)
- 伊関 則子
- 坂下 妥子
- 中嶋 路子
- 安 勢津子

- 高橋 秀華(サブチーフ)
- 明石 美穂子
- 河村 保弘
- 滝川 まりえ
- 三村 晴子
- 吉田 由紀子

## ～共助・連帯・地域の絆づくり～

高輪地区総合支所では、10月27日(木)から11月3日(木・祝)までを地域防災力の強化と、被災地支援を図るための防災週間とします。期間中には、防災フォーラムのほか、寺町コミュニティ事業としてコミュニティ・サロン(P7参照)や、港区高輪地区総合防災訓練を実施します。

■問い合わせ：高輪地区総合支所協働推進課協働推進係 ☎ 5421-7621 FAX 5421-7626  
※詳しいお知らせは各総合支所や区施設等で配布するチラシやホームページをご覧ください。

### 高輪地区防災フォーラム 11月3日(木・祝) 高輪コミュニティーパラダ

**防災アニメ上映**  
10:30～11:00

「ちびまる子ちゃんの地震を考える」  
「ハム太郎のとっとこ大事だ!! 防災訓練」

**防災講談**  
演目「ひとりじゃなくて、ひとつ」  
講談師 神田織音氏  
11:15～11:45

岩手県、宮城県気仙沼市、  
福島県いわき市の物産販売

10:00～16:00  
農産物、名産品、地元産弁当など  
東北の美味が満載

**防災講演会**

13:30～15:30

- **基調講演** テーマ「震災復興と地域づくり」  
広田純一氏(岩手大学農学部教授/復興構想会議検討部会委員)
- **被災地ボランティア活動報告**  
市川享子氏(明治学院大学ボランティアセンターコーディネーター)
- **被災地の現状を語る**  
上田克郎氏(気仙沼商工会議所青年部直前会長)  
菅野千加子氏(気仙沼市立気仙沼中学校PTA役員)

**東日本大震災パネル展示コーナー**  
10:00～16:00

**ドキュメンタリー映像  
コーナー**  
10:00～16:00

**防災活動コーナー**  
岩手大学、明治学院大学、高輪警察署、  
高輪消防署などの活動等を紹介します  
10:00～16:00

## 港区高輪地区総合防災訓練を実施します!

**10月30日(日) 9:30～11:30 (小雨決行) 高松中学校**

港区では、今年の3月11日に発生した東日本大震災や平成7年に発生した阪神・淡路大震災などの教訓をふまえ、大地震に備えて港区総合防災訓練を行います。小さなお子さんも楽しめるこどもコーナーや各防災体験コーナーを回ってスタンプを集めると、抽選で防災グッズが当たるスタンプラリーも企画しています。



東北地方では多くの被災者が避難所での生活を余儀なくされました。そこで高輪地区では、実際に避難所となる高松中学校体育館にて模擬避難所を開設します。どのような時に避難所に行くの?避難所には何があるの?などの疑問にお答えするとともに、実際の避難所を体験していただき「いざ」という時の準備をしていただきたいと思います。自らの命は自らが守る(自助)、自分たちのまちは自分たちで守る(共助)のために、積極的な訓練の参加をお待ちしています。

### 訓練内容

集合訓練、避難誘導訓練、避難報告訓練、初期消火訓練(消火器体験)、煙中避難訓練(煙ハウス体験)、応急救護訓練、炊き出し訓練、模擬避難所、こどもコーナー、その他  
※訓練内容は変更になる場合があります。

- 会場には、医師、看護師、英語通訳者、手話通訳者がいます
- 会場では、災害用備蓄食品(アルファ米)の試食を行います

毎週水曜日は午後7時まで受付 ※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係 ☎5421-117612 / 保健福祉係 ☎5421-117085